

授業改善等に関する報告書（2022年後期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2022 (後期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	井口 真美	みなさんのチームワークには、心から感心しています。保育現場で見聞きしたことをもとに、これからは卒業論文について考えていきましょう。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	塩川 宏郷	後期は卒業研究にむけての文献収集と調べ学習を中心に行いましたが、遅刻・欠席学生がほぼ毎回あって、課題発表当番をやらない学生もみられました。最終的には卒論をまとめることにつながりますので、学生の積極的な参加を求めます。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	高橋 桂子	前期の超充実と比べると、後期はちょっとウロウロしちゃいましたね。後輩が6名はいてきます。3,4年生でしっかりタグを組んでtry & errorの精神で何事にもチャレンジしてほしいです。チャレンジあるのみ!
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	水野 いずみ	様々なゼミ活動に積極的に取り組めていました。今後の授業に活かしたいと思います。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	大澤 朋子	1年間のゼミナールおつかれさまでした。今年初めての試みとして、1年を通じてこどもセンターに行ってみました。地域の子育て家庭のニーズ、社会的養護が子育て支援を担うことの意味を感じながら、みなさんらしいクリスマスイベントが実施できてよかったです。また、後期のゼミを通して卒論のテーマも見つけられたでしょうか。次年度の開始を楽しみにしています。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	長崎 勤	最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な心理支援の問題に関心を持ってもらえればと思います。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	塚原 拓馬	今回の回答者からは高評価を頂けたが、回答率が低いため後は回答率を向上させるように努めていきたい。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	渡辺 敏	4年生の卒業論文に向けて積極的に学び続けてください。
ゼミナール (論理的判断とコミュニケーション)	島崎 あかね	後期は少しずつ自分の興味関心に近い先行研究を探したり、「運動生理学」の基礎について、それぞれがまとめて発表してもらいました。もう少しテーマを絞って、計画的なゼミナールが展開できればよかったと反省していますが、春休み中に4年次の卒業論文に向けた課題に取り組んでもらえたらと思っています。
家族と生涯発達各論 a (乳幼児・児童期)	長崎 勤	最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な家族の問題に関心を持ってもらえればと思います。
家族臨床心理学 2	稲森 絵美子	臨床心理学における、家族のアセスメントや心理療法について、事例を交えて学んでもらいました。授業内の意見発表も、前期より活発になりました。さらに、双方向的な授業になるよう、工夫していきたいと思っています。
家庭経営論 2	高橋 桂子	新聞課題2回、とてもよく頑張りました。みんながどのようなことに関心を持っているのか、選ぶテーマからよくわかりました。教員のコメントに対して、ほとんどの方が「既読」になっており、フィードバックもできたようで充実しきり、です。複数回のゲームは、行動経済学の定番でしたが、盛り上がり、最後の考察にも優れたものがありました。社会に出てからこういった考え方、行動は役に立ちます。関心をもってくれた方は行動経済学の本、春休みに読んでみてください。
学習・言語心理学	長崎 勤	最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、現代の様々な学習・言語の問題に関心を持ってもらえればと思います。
看護学	小川 敬子	皆様からの貴重なご意見、ご感想に感謝致しております。ご自分の健康に目を向けるきっかけづくりや演習で学んだことを生活に取り入れられそうとの感想をいただき嬉しく思います。 また、配布物を事前に配ってもらえれば書き込みができるのご意見がございました。ご自身で考えてもらおうと資料配布を後にしたこともありました。今後は、ご自身の考えを深められ、理解度を確認しながら進められる資料作りを検討し、事前配布が可能にしていけるようなればと考えております。現時点でも、8割以上は資料を授業に入る前に配布しておりましたが…。極力努力いたします。 授業内での小テストや穴埋め問題など作業を増やし、知識を定着したいのご意見もいただきました。是非、次年度は、取り入れたいと思います。
基礎演習 1 (言語表現とコミュニケーション)	塩川 宏郷	論理的な文章を読み、要約し、自分の意見を根拠とともに論理的に記載することをめざして演習を行いました。最終課題のブックレポートは、しっかりと論文形式で作成できた学生がほとんどでしたが、読書感想文レベルにとどまった学生もみられました。論文を読むことを今後もつづけてもらいたいと思います。

【2022（後期）生活文化学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎演習 1（言語表現とコミュニケーション）	大澤 朋子	半年間の受講お疲れさまでした。 文章読解、レポート作成は大学での学びの基礎です。 卒論で先行研究の要約の仕方がわからなくなったら、基礎演習で学んだことを思い出してください。
基礎演習 1（言語表現とコミュニケーション）	田中 正浩	各評価項目の数値、個別のコメントからは概ね好意的に授業が受け入れられているように思える。一方で、評価項目によってはどちらかといえばそうは思えないといった回答も見られる。授業者としては、より双方向的な授業になるように努め、配付資料等においても工夫をし、なによりも授業内容への理解度が一層高まるようにしていきたいと考える。
教育制度論	田中 正浩	平均値を下回る評価項目について積極的に改善し、授業づくりをしたい。とくに、双方向的な授業になるように努め、板書や配付資料においても受講者の目線で工夫をし、授業内容への理解度がより高まることをめざしていきたい。
健康・医療心理学	塩川 宏郷	公認心理師の必修科目なので、国家試験の出題基準にあわせた内容を講義しました。2年生には心理演習につながる内容ももりこみレポートを提出してもらいました。授業中に別の科目（ゼミ）の課題をやっている学生が散見されました。
健康科学概論	塩川 宏郷	前期の人体の構造と機能および疾病とあわせて健康と障害について理解をすすめることができたと思います。後半の保健医療システムについては、大切な内容なのですがあまり関心をひかないようなので今後考慮していきます。復習テストも可能なかぎり毎回やっていきます。授業で不明な点を積極的に質問してもらいたいと思います。
算数	渡辺 敏	算数の授業を子どもたちと楽しんで取り組めるよう学び続けてください。
子どもの健康と安全	塩川 宏郷	子どもの保健で学習した内容を、別の視点から演習しながら身に付けていくことを目指しました。遅刻する学生が多かった印象があります。資料はタブレットなどに保管しあとから参照すること、講義では自分のノートを作ることをお勧めします。
子ども家庭福祉	大澤 朋子	半年間の受講おつかれさまでした。 子ども家庭福祉で扱う諸問題は、保育・教育分野の実践を行う際に避けて通れませんが、チームで情報を共有するよう心がけてください。 中間レポートはみなさんたいへんよく書いていました。
子ども理解とカウンセリング	塚原 拓馬	今回の集計では総合的に満足できたという回答を頂き、概ね一定以上の評価を頂くことができた。回答率が半数以下のため、今後はまずは回答率を向上していくことに努めたい。
社会心理学 1（社会・集団・家族心理学a）	水野 いずみ	体験や演習など、積極的に取り組めていました。今後の授業に活かしていきたいと思います。
社会福祉	大澤 朋子	社会福祉は私たちの生活に密接に結びついた諸問題を扱います。 また、心理、教育、医療、社会学などの隣接領域の技法も用います。 授業ではいろいろな分野をざっくりご紹介しました。 もっと詳しく学びたいということが一つでも見つければと思っています。 中間レポートは、それぞれの関心に沿ってよくまとめられていました。
初等教科教育法（生活）	渡辺 敏	授業での学びを活かして生活科の授業に積極的に取り組んでください。
初等教科教育法（体育）	島崎 あかね	幼小コースの授業なので、実技を取り入れながら「指導法」を体験的に学ぶのは難しい部分もありますが、皆さんが積極的に授業に取り組み学びを深めてくれたのではないかと思います。体育の実技はという「できた・できない」が他者にわかってしまう教科目なので、どうしても苦手な子どももいます。そういった子どもへのフォローをどのようにしたらいいか、という点も含めて、指導案の作成では場や子どもたちの姿を想定することの難しさを感じたと思いますが、『生きる力』を育むことの重要性和伝えることの難しさを理解し、自らが身体を動かすことでこの難しさに対峙してもらえたらと思っています。
心理学演習 2	塩川 宏郷	英語の医学論文の読解に挑みました。医学論文も、英語の論文も、基本的な事項をおさえれば決して難しいものではないということを演習を通じて体験できたと思います。3年次のゼミナールや卒業論文につながる「研究」の入り口であることを意識してもらえますようにします。
心理学研究法入門 2（心理学統計法）	中山 友則 作田 由衣子	統計の授業だったので、苦労された方が多かったのではと思います。それでもこの授業に満足していると回答された方が多かったので、頑張った分、達成感があったのではと思いました。これからも、実験や調査を行って卒論を書く上ではとても大事な知識になりますので、ぜひ統計の勉強は続けてもらえたらと思います。

[2022 (後期) 生活文化学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
心理検査法 2 (心理的アセスメント b)	長崎 勤	最近のトピックスを入れたためにシラバス通りに進まなかった面がありますが、検査法の様々な問題に関心を持ってもらえればと思います。
心理調査法 2	水野 いずみ	大変な授業だったと思いますが、真剣に取り組めていました。今後も授業をさらによりよくしていきたいと思います。
生涯発達心理学 b	塚原 拓馬	授業の説明や進行スピード、聞き取りやすさなど概ね一定以上の授業満足度の評価を頂いた。回答率が約半数のため、今後は回答率を向上させることに努めていきたい。
生涯発達心理学演習 b	塚原 拓馬	授業を通して成長に繋がったという回答も頂けたが、授業満足度などは平均を下回ったため改善をしていきたい。少人数受講で回答率も不十分のため今後は授業内容を見直しつつ回答率を向上するように努めたい。
生活の科学	橋 弘志 水野 いずみ 大川 知子 白尾 美佳 塩川 宏郷	生活の中にある医学的な話題を通じて医療に関心を持ち、課題を見出すことを目標にしたいと思います。
生活経済論	高橋 桂子	テストが3回もあって大変でしたね。皆さんの感想をよむとしっかり勉強できた、いちばん勉強した、知らないでは済まされないことがわかった、など、教員としてもとても教え甲斐のある授業でした。この姿勢を忘れず、ますます頑張ってください。
生活心理フィールドワーク 1	水野 いずみ	大変な授業だったと思いますが、熱心に取り組んでいる様子がうかがえました。今後の授業につなげていきたいと思います。
生活心理フィールドワーク 2	水野 いずみ 塚原 拓馬 作田 由衣子	この授業全体を通して、様々な力を身につけることができたのではないかと思います。「成長が実感できた」との回答が多かったですね。ぜひ在学中に、引き続き苦手なことにもチャレンジしていただけたらと思います。
生活心理概論	塚原 拓馬 作田 由衣子	今回の結果では授業満足度について概ね全体平均を上回る評価を頂いた。説明や授業進行なども一定以上の評価を頂いたため今後も継続し、より充実した授業を提供できるように改善をしていきたい。また回答率が3割程度のため回答率を高めていくように努めていきたい。
生活心理研究計画法	水野 いずみ	地道に取り組めていました。今後の授業をよりよくすることに活かしたいと思います。
知覚・認知心理学 a	作田 由衣子	資料がわかりやすかった、質問に対する解説がよかったなどのコメントがありました。少しでもこの分野に興味を持ってもらえたらうれしいです。試験の点数が知りたいとのコメントがありましたが、基本的に授業で扱った内容から出題しておりますし、試験後に簡単なフィードバックも行いましたので、なお不明な点があれば配布資料を確認するか、教員までご質問ください。
道徳の指導法	渡辺 敏	学習したことを活かして是非、現場で道徳の授業に取り組んで下さい。
保育・教育指導の基礎	松田 純子 井口 真美 渡辺 敏 大澤 朋子	幼稚園、保育所、児童館、小学校等の施設を見学し、保育・教育の実際の様子が見えてきたことと思います。幼小コース・幼保コースの選択も確定し、今後は更に専門的、実践的な学修へと進んでいきます。子どもと関わることを楽しみながら、保育・教育の学びを深めましょう。
保育・教育指導の実際	松田 純子 井口 真美 渡辺 敏 大澤 朋子	後期は幼稚園での部分実習等も経験し、3年次の実習が少し身近なものに感じられたのではないのでしょうか。実習に向けて教材研究などは各自で進めておきましょう。
保育・教職実践演習 (幼稚園)	田中 正浩 井口 真美	4年生最後の授業、現場への参加も含め、保育者になるにあたってのブラッシュアップはできたでしょうか。もちろん不安もあるでしょうが、保育の仕事を楽しむ姿勢があれば大丈夫です。これからも頑張ってください。
保育学	井口 真美	私自身も他学科、他専攻のみなさんとの授業を楽しみながら進めることができました。今回は実習にも行くことができ、よかったと思っています。今後は保育、子どもに目を向けてみてください。

【2022（後期）生活文化学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
保育活動の実際c	越山 沙千子	<p>半期お疲れさまでした。アンケートに答えてくださった皆さんありがとうございました。限られた時間内で様々なことをやらなければならないので、忙しかったと思います。種まきのようなことの中で大切なことや今後学び続けてほしいことを含めたつもりです。様々な資料や実践を積む中で、学び続けてほしいと思います。</p> <p>楽典については難しかったかもしれませんが。授業の内容や方法、満足度の点で、「どちらともいえない」を選択している方もいらっしゃるのですが、今後も改善が必要だと思っていますが、すぐにできるようになるものでもなく、時間をかけて、多くの事例にあたることでしっかり身につけ、使えるものになるということも理解して取り組んでいただけたら嬉しいです。</p> <p>今後も頑張ってください。ありがとうございました。</p>
保育活動の実際c	越山 沙千子	<p>半期お疲れさまでした。アンケートに答えてくださった皆さん、ありがとうございました。</p> <p>限られた回数の中で、多くのことをやらなければならないので、忙しかったと思います。特に、楽典の部分は難しいと感じた方もいらしたと思います。授業の内容や方法のところで「どちらともいえない」を選択されている方もいますので、より分かりやすくなるよう、さらに工夫をしていきたいと思っています。同時に、すぐに分かって、使えるようになるということも難しいということもご理解いただけたら嬉しいです。多くの事例を見て、少しずつ分かっていくものですから、時間をかけて何度も考え、学び続ける努力をしてほしいと思っています。これからも頑張ってください。</p> <p>ありがとうございました。</p>
保育実習指導 1	松井 利恵	<p>1年間受講おつかれさまでした。</p> <p>実習に合わせて週に2時間続くこともあり大変でしたね。</p> <p>後期の実習報告はみなさんよく工夫されていて良かったです。</p>
保育実習指導 1	松田 純子 大澤 朋子	<p>1年間受講おつかれさまでした。</p> <p>実習に合わせて週に2時間続くこともあり大変でしたね。</p> <p>後期の実習報告はみなさんよく工夫されていて良かったです。</p>
幼児教育法	井口 真美 長谷川 恭子	<p>模擬保育、園長先生のお話などを通して、幼稚園実習について具体的にイメージすることができたでしょうか。</p> <p>幼小コースのみなさんは、幼稚園実習も頑張りました。</p> <p>4年次の実習にも前向きに取り組ましましょう。</p>
臨床心理学 2（心理学的支援法）	五味 美奈子	<p>本科目はセラピストの基本姿勢、構造、心理検査、アセスメント、主な心理療法を授業担当者の事例を交えながら紹介しました。みなさんからのリアクションペーパーの反応から意欲的に学ぼうとすることがうかがえました。学ぶ中で「自分にできるのだろうか？」とその難しさを感じた学生も多かったと思います。</p> <p>今後、専門的知識を身に付けていくことはもちろんですが、それとともに自己理解を深められるといいですね。</p> <p>また、様々なものを見聞きし、触れて感じるといった直接体験により、人としての深みも増しますので学生生活など存分に楽しんでくださいね。今後のみなさんの歩みを心から応援しています。</p>
臨床発達心理学 2	稲森 絵美子	<p>学生のみなさんが積極的に授業内で発表、発言してくれたことで、課題について互いに理解を深めることができたと思います。</p>